



## 元の生活に戻るお手伝いをします 全ての疾患に適したリハビリテーション医療があります

リハビリテーションセンター長／(兼)リハビリテーション科代表部長  
白倉 賢二

当院整形外科は手外科の専門病院であり、県内の多くの病院から手の障害・外傷の患者さんの紹介があります。手は「掴む」、「握る」などの高度な巧緻性を有し、手の機能障害は仕事や日常生活に大きな支障を来します。手の治療には高度な専門性が要求されます。当院は手外科の専門療法士を配置しております。

リハビリテーション（リハ）科は手外科以外に、全ての診療科の疾患に対応しております。健康保険でリハ医療は脳血管疾患、運動器、呼吸器、心大血管の4分野と、がんリハ、難病リハ、身障者リハ、精神科作業療法などに別れます。本院は脳血管疾患等（1）、運動器疾患（1）、呼吸器疾患（1）、がんリハの施設承認を受けております。脳卒中、骨折や腰痛などのリハは広く一般に認知されておりますが、最近では内部障害のリハとして呼吸器や循環器疾患のリハの有用性が証明されております。呼吸器は主に胸部、腹部の手術期の介入、肺炎後やICU、人工呼吸器からの離脱などに大きな成果を上げております。心筋梗塞、心不全、心臓手術や、カテーテル治療の術後における心大血管疾患リハもその有用性が証明されております。

従来は安静が重要であるとされた関節痛や肝疾患、腎疾患、血液疾患に対してもそれぞれに適し

た運動療法があります。当院では最近要望が高まっている嚥下障害に対応する言語聴覚士も配置しております。がんリハは、白血病を含むがんの特殊性に配慮したもので、多くの患者さんのQOLの向上に欠かせないものとなっております。当院では全ての患者さんに適したリハ医療を行い、廃用症候群の発症を無くすように務めております。

さらに当院リハ科では整形外科と協力して膝関節、股関節、肩関節などの関節障害や骨粗しょう症の治療にも力を入れております。退行性病変や関節リウマチに対する人工関節手術、膝内障に対する関節鏡視下手術などを得意としております。その他すべての領域のリハ医療、運動器疾患の要望にお応えします。

